

# 平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード 820100 TEL 2998-9238	
事業コード	学校支援訪問事業	担当部課	学校教育課
820114		グループ	指導担当
開始年度	年度	→	終了年度 年度
②事業の概要		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加 <b>根拠法令</b> 地方教育行政の組織及び運営に関する法律、所沢市教育委員会学校訪問実施要綱	
分野別計画・指針			
関連・類似事業			
総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ	節 学校教育	基本方針 地域が信頼する学校づくりの推進
事業開始の背景	市内小・中学校及び市立幼稚園における教育課程の管理、学習指導、その他教育に関する専門的事項の助言・指導を行い、教育内容の充実を図るために開始した。		
③事業の内容			
目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)			
計画的な学校・園訪問を通して、教育行政施策の浸透や教育課程の管理、学校教育の専門的事項の助言・指導を行うことによって、教育内容の一層の充実を図る。			
対象(誰を、何を対象としているのか)			
市立幼稚園(1園)、市立小学校(32校)、市立中学校(15校)のうち、当該年度訪問校・園の数	対象数	単位	平成 26 年度 24 校・園 平成 27 年度 24 校
事業の具体的な内容及び実施方法			
○2か年ですべての小・中学校及び市立幼稚園を訪問する。 ○各年度の訪問は、概ね1/2の学校・園数とする。 ○訪問内容は、以下のとおり。 (1)校長・教頭との話し合いと協議(教育課程の編成と実施状況、教育上の諸課題等) (2)公開授業に基づいた研究協議、指導・助言(学び創造プランの推進) (3)教育指導に係る諸表簿の閲覧、指導・助言 (4)西部教育事務所・市教育委員会による指導講評とお願い			
④経費			
＜会計種別＞ 一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)
当初予算		0	0
決算(見込み含む)		0	0
(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	( 0.00 人 ) ( 0.00 人 )	( 0.00 人 ) ( 0.00 人 )	
正規職員人件費	2.70 人 23,547	2.80 人 24,248	
事業費合計	23,547	24,248	
財源内訳	一般財源 23,547	24,248	0
	国・県支出金 0	0	0
	その他( ) 0	0	0
※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
⑤実績			
項目名	項目説明	単位	H 26 H 27 H28見込み 将来目標
活動実績	訪問実施校	訪問実施校・園	校・園
			24 24 24 24
⑥成果			
項目名	項目説明	単位	H 26 H 27 H28目標値 将来目標
成果指標	学校訪問を校内研修の一環として位置づけている学校の割合	校内研修に位置づけている校・園数/保門実施校・園数	%
			目標値 実績
			85 85 85 100
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率 100 100
↑どちらかをチェックしてください			
⑦改善点			
(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)		(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析	
学び創造プラン学力向上推進事業について、今まで以上に指導主事で共通理解を図り、各学校での指導について、プレの無いように確認をし、学校指導訪問に生かした。		-	
⑧評価			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了 方向性の	事業実施方法(複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由 埼玉県教育委員会の方針として、2年に1回、各校・園を訪問する位置づけになっているため。
		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由 経費を必要としないため。
(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性	
学校訪問での専門的事項の助言・指導を行うことによって、教育内容の一層の充実を図るとともに、学び創造プラン学力向上推進事業の進捗状況・成果などを把握することができ、課題については、指導・助言を行った。		教育委員会の教育施策において、国・県の動向をふまえつつ、アクティブラーニングによる授業改善を今後もこの周期での訪問を進めていく。	
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	学校教育課 塚 俊彦
⑨環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙・自動車の使用
		規制を受ける環境法令等	無
		緊急事態	無